

## ■令和6年度 学校教育・家庭教育に関するアンケート(学校評価)について

11月に実施した学校評価(保護者アンケート)にご協力いただき、ありがとうございました。アンケートの結果を報告いたします。(回答は「アそう思う」「イどちらかというと思う」「ウどちらかというと思わない」「エそう思わない」から選択していただきました。)

質問内容(一部を要約しています)	ア	イ	ウ	エ	ア+イ	ア+イ前年度比較
1 お子さんは、元気で楽しい学校生活を送っている。	66.7%	24.9%	6.8%	1.6%	91.6%	92.6% -1.0
2 お子さんは、家庭で進んで勉強をしている。	22.8%	39.6%	32.0%	5.7%	62.4%	67.4% -5.0
3 お子さんは、家庭でよく読書をしている。	18.2%	18.2%	33.1%	30.6%	36.4%	37.1% -0.7
4 お子さんは、友達と仲良く遊んでいる。	60.2%	29.5%	7.9%	2.4%	89.7%	89.0% +0.7
5 お子さんは、家庭や地域で、進んで仕事をしている。	17.9%	38.8%	31.2%	12.2%	56.7%	57.3% -0.6
6 お子さんは、家庭や地域で、あいさつをよくしている。	25.7%	47.4%	21.7%	5.1%	73.1%	74.4% -1.3
7 お子さんは、周りの人にやさしい気持ちで接している。	39.8%	50.9%	8.4%	0.8%	90.7%	88.5% +2.2
8 保護者は、子どものよいところをほめている。	39.6%	51.5%	8.4%	0.5%	91.1%	92.9% -1.8
9 保護者は、子どもの悪い行いを叱っている。	66.7%	31.7%	1.4%	0.3%	98.4%	96.9% +1.5
10 保護者は、TVやゲーム、スマホなどの約束を決めている。	51.2%	28.2%	15.4%	5.1%	79.4%	77.3% +2.1
11 保護者は、手伝いをするように働きかけている。	39.6%	46.6%	12.7%	1.1%	86.2%	85.0% +1.2
12 保護者は、身を守る命の大切さについてよく話している。	56.4%	33.1%	10.0%	0.5%	89.5%	88.2% +1.3
13 学校の便りやメール、HPから学校の様子が伝わってくる。	32.8%	50.1%	15.7%	1.4%	82.9%	80.7% +1.8
14 職員は、わかりやすい授業を心がけている。	43.6%	49.3%	6.2%	0.8%	92.9%	91.9% +1.0
15 職員は、お子さんの努力やがんばりを認め励ましている。	48.5%	41.5%	9.5%	0.5%	90.0%	90.5% -0.5
16 職員は、子どもの話をよく聞いてくれる。	44.2%	43.9%	10.3%	1.6%	88.1%	87.9% +0.2
17 学校は、いじめや問題行動に適切に対応している。	30.9%	55.0%	12.7%	1.4%	85.9%	83.4% +2.5
18 学校は、保護者の相談や質問に丁寧にに対応している。	45.0%	47.2%	6.8%	1.1%	92.2%	91.0% +1.2
19 学校は、コロナや熱中症等の予防に適切に対応している。	40.1%	52.6%	7.0%	0.3%	92.7%	92.9% -0.2

○児童・保護者ともにアンケートの結果で9割以上の子が学校生活を楽しく送ることができていると答えています。しかし、「元気で楽しい学校生活を送れていない」と思っている子も一定数いるため、どの子にとっても学校が安心して楽しく生活できる場となるように努めていきます。職員について、「努力やがんばりを認め励ましている」という項目で、前年度より低い結果が出ています。子ども一人一人を大切にしたい指導・援助に一層力を入れたいと思います。職員は様々な場面で子どもの思いを受け止め、話に耳を傾け、子どもの努力やがんばりを認め励ますよう努めます。

○タブレットを使ったオンラインでの学びを改めて整えたり、昨年度より開設した校内教育支援センター「あさがお」を活用したりして、欠席等により教室で授業を受けることができない子どもたちの学びも保証していきます。

○今年度本校では「まっつこプロジェクト」や「まっつこ学習会」などをスタートし、子どもたちの「やりたい」を大切に活動を進め、主体的・協働的・個別最適な学びの充実を図っています。職員は、子どもにとってわかりやすい授業に努めるとともに、子ども自らが自己選択し、自己決定していく「自分ごと」の学びを展開できるよう授業改善に努めます。学習や生活の主体者は子どもであるという考え方を家庭や地域の方々と共に、どの子も「自分ごと」の学びを通して、自らの生き方をたくましく創り出す教育を進めていきます。家庭では、進んで学習や仕事をする子どもの姿が前年度より減りました。家庭学習においても、子どもたちにとって必然性があり、自分に合った学習を主体的に取り組める活動を願っています。以下に家庭学習の進め方を紹介します。

◇発達段階に応じて音読やドリル、プリント等、授業の進度に沿った学習内容を担任から提案します。ただし、やり方や量など、個に応じて柔軟に対応していきます。

◇自主学習「自学」や「じぶんノート」など、自分で決めた学習を進めていきます。苦手なところは前の学年に戻って学び直したり、興味のあるところ、もっと学びたいところはどんどん進めたりします。

◇タブレットドリルやタブレット版の計算・漢字ドリルには、答え合わせがその場でできるため、積極的な活用を期待します。タブレットドリルでは、他の学年のものも利用できます。

※ドリルやプリント、ノートの丸うちは、低学年のうちは保護者をお願いします。3年生以降は自分でできるようにご家庭での見届けをお願いします。

※職員による家庭学習の見届けについては、児童が学校にいる間は教職員が児童と向き合う時間を優先するため、ノートやカード等の確認を短時間で終わらせ、印やサイン等をしてお返します。また、タブレット端末を使って、ロイロノート等で提出を求め、確認することも取り入れます。

○あいさつやボランティア(仕事)に積極的に取り組む姿が少なくなっています。人と人とのかかわりの大切さや、働いて役に立つ喜びについて考える場をもち、家庭・学校・地域が一体となって子どもを育てたいと思います。交差点で止まってくださった車のドライバーの目を見て会釈をして気持ちを伝える「100%車が止まる町」の取組は、今後も続けていきます。

○学校行事、体験学習を工夫して実施していることについて、肯定的なご意見を多数いただきました。学校では、いじめ問題対策委員会を機能させ、「いじめを見逃さない」「いじめを許さない」「いじめから守る」取組とともに、一人一人の命、心、人権を大切にしたい取組を進め、今後もいじめを未然に防止する温かい学校づくりに精一杯努めていきます。